

派遣一年目，現地理解のために訪れた UAE 国内の施設とその概要

(1) アルシーフ



アルシーフは、活気溢れるドバイクリークに位置する、ドバイで最も人気のレジャー地区のひとつである。とても独特で魅力的な雰囲気を醸し出している。歴史が浸透しているアルシーフは、ショッピング，食事，滞在を楽しむ観光客に適した場所である。

東洋と西洋の品々に触れ，体感することができるのも特徴である。手の込んだ職人技，伝統的な手工芸品を手にとってみることもできる。また，アルシーフでは，ライブバンド，ダンスパフォーマンスなどのイベントも行われている。

(2) グローバルヴィレッジ



毎年10月から4月に何百万人もの人がグローバルヴィレッジを訪れる。遊園地のスリル満点の乗り物を求める人，世界各地のグルメを満喫したい人，夜に開催される文化的なエンターテインメントを楽しみたい人，本格的なショッピングを求める人など，あらゆる人が楽しめる。このヴィレッジには，現地で生産された商品を紹介する27か所もの豪華パビリオンに75か国以上が参加しています。

イエメン産の美味しい蜂蜜，イランとアフガニスタンで織られた精巧な絨毯，モロッコ産のアルガンオイル，アフリカ産のシアバター，スペイン製の刻印入りネックレス，タイ産のドライフルーツなどを購入することができる。また，エジプトからイタリア，ベトナムからオマーンに至るそれぞれのパビリオンでは，香り，音，色鮮やかな装飾を通して各国を実際に訪れたような気分になさしてくれる。

夜に開催されるコンサートでは，世界中からのエンターテインメントが集結し，アーティストたちがマジック，音楽，コメディを組み合わせたパフォーマンスをワールド・カルチャー・ステージで披露する。レストラン，カフェ，ストリートフード屋台も多く，世界の味を楽しむことができる。

(3) ジュメイラモスク



このモスクは「門戸を開く」という方針のもと、あらゆる信仰を持つ来場者を歓迎している。来場者はイスラム教と地元の文化を学ぶことができる。

崇拝者を最大1,200人収容できるジュメイラモスクは、大きな中央ドームを囲む2つのミナレット（塔）が高くそびえ立ち、中世のファーティマ朝の伝統的な白い石を用いて建築された。

地元のモスク係員が1週間のうち6日間、75分間のガイド付きツアーを実施している。このツアーでは、エミラティ式の生活様式と宗教について詳しく学ぶことができる。具体的には、イスラム教の祭日、儀式、伝統、料理、習慣について、また、ラマダンの断食月についても詳しく教えてもらえる。女性は、入場している時間はしっかりと肩を隠し、頭をスカーフで覆う必要がある。

(4) ザビューアットザパーム



パームジュメイラにオープンした展望台ザビューアットザパームは、52階建てで、2021年4月7日から一般公開がスタートした。ここの展望台からは、パームジュメイラを全て見渡せる壮大な景色を眺めることができる。

展望台は、パームタワー52階に位置し、ドバイを象徴する世界的に有名なやしの木の形をしたパームジュメイラがどのように開発されたのか詳しく紹介してくれる施設も備わっている。

建物の中には、パームジュメイラの建設の詳細が展示された博物館ツアーがある。また、パームジュメイラ人工島についての短編映画もあり、海に浮かぶ世界一の人口島のパームジュメイラがどのように出来ていったのかを知ることができる。

(5) エティハド博物館

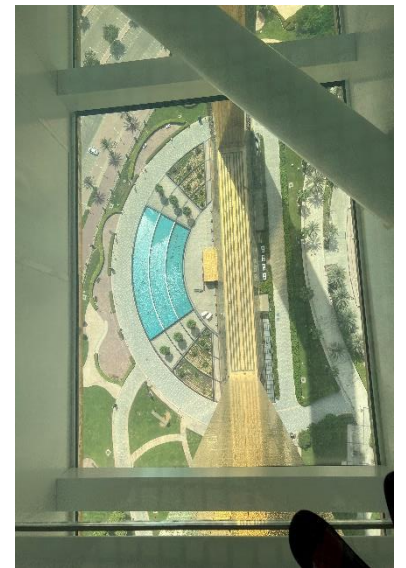
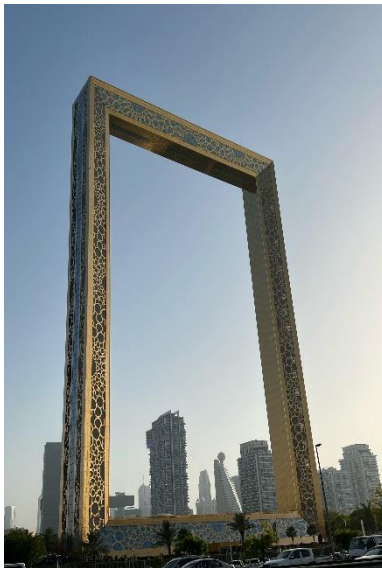


ドバイ最新の文化的施設、エティハド博物館である。UAE のジュメイラ地区に位置するこの博物館は、UAE の歴史に触れることができる。写真や映画などを通じて、特に 1968～1974 年の間にこの国がどのように発展していったかを学ぶことができる。

2 万 5,000 平方メートルに広がるこの博物館は、独立に向けて 1971 年に UAE 憲法に署名された歴史的な場所であるユニオンハウスと同じ敷地にある。

エティハド博物館は図書館、教育センター、売店、特別展示ホールとレストランが備えられている。

(6) ドバイフレーム



ドバイフレームは観光客にも住民にも人気のドバイでも指折りの名所である。ブルジュハリファやブルジュアルアラブの象徴的な建造物と同様、ザビール・パークにあるドバイフレームからも都市の全景を楽しむことができる。

2 つのタワーを繋ぐ橋が架かる、高さ 150 メートル、幅 93 メートルのドバイフレームはその構造に独特なコンセプトが表現され、額縁のような形をしている。

ここでは、景色を楽しむにとどまらず、ドバイの過去、現在、未来を体験することができる。また、スカイデッキに架かる 50m の長さのすりガラス製の透明の橋に足を踏み入れると、センサーで作動するフィルムで舗装された液晶フロアは、来場者が歩く時だけ透明になる。

スカイデッキを渡り下階に降りると、空中タクシー、水中での生活、宇宙への素晴らしいミッションなど、50 年後のドバイを予想した姿を見ることができる。

(7) シェイクザイドグランドモスク

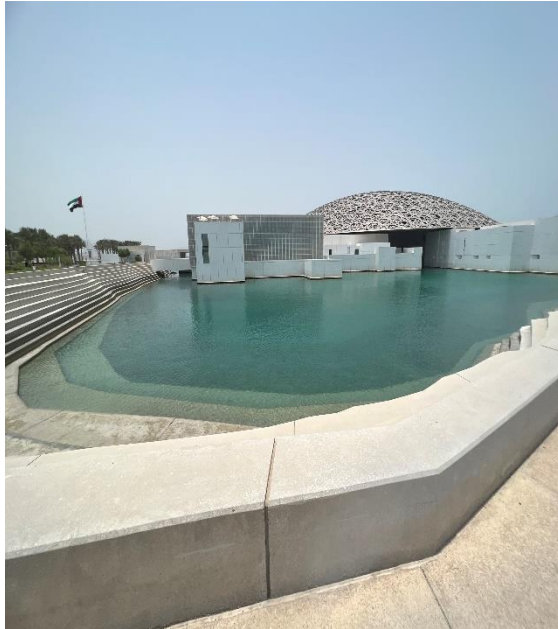


シェイクザイドグランドモスクは、アラブ首長国連邦の首都アブダビにあるモスクで、伝統的なイスラム様式と近代的な建築技術を用いて造られた。1996年に着工し、2007年に完成した。世界最大のペルシア絨毯が敷かれたことでも有名である。

モスクはイスラム教徒の礼拝堂を意味するが、シェイクザイドグランドモスクは異教徒であっても入ることができるため、旅行者にとっても外せない人気スポットである。

シェイクザイドグランドモスクは、アラブ首長国連邦の初代大統領で、このモスクの建設を指示したシェイクザイドビンスルタンアルナヒヤーン氏にちなんで名付けられた。

(8) ルーブルアブダビ

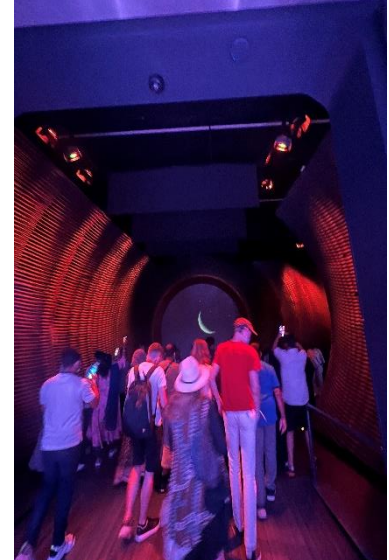
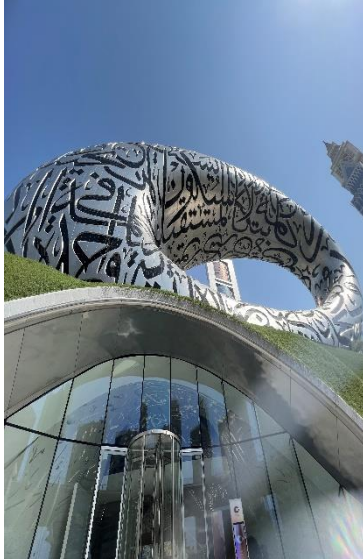


フランスのルーブル美術館と提携し古今東西の作品を展示する美術館である。アラビア湾に浮かぶサディヤット島の西部に位置する。55の白い立方体が連なる展示室を巡りながら鑑賞する。美術館全体は、重さ約7,500トンの銀色のドームで覆われている。

館内は、絵画から彫刻、現代アートまで幅広く展示されている。展示作品は、600点の所蔵作品に加え、フランス側から貸し出されたおよそ300点の作品があります。

23棟のギャラリーに加え、子供向け博物館、レストラン、ブティック、カフェなども併設されていて、ゆっくりと楽しめる施設となっている。

(9) 未来博物館（フューチャーミュージアム）



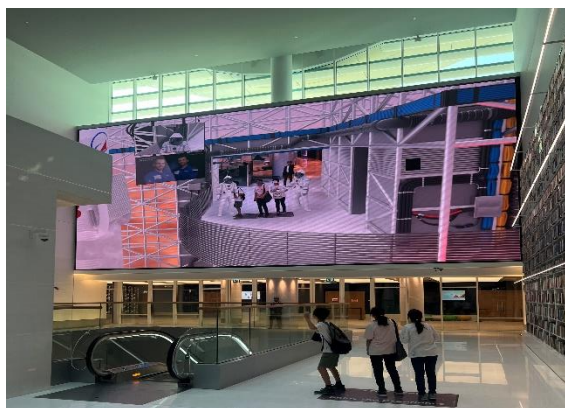
未来博物館（The Museum of the Future）では、今後20年でテクノロジーがいかに進化するかという興味深い展示を見ることができる。ドバイ未来財団（Dubai Future Foundation）が創設したこの博物館は、テクノロジーがいかに私たちの体や心を強化し、社会的・経済的ソリューションを管理しているかを紹介している。このように計画された設計は世界でも初めてのもので、参加型のディスプレイを通じてテクノロジーと関わることのできる未来博物館ならではのものである。気候変動の3つの主要な課題である、真水供給、食料の安全保障、都市の建設・再建について理解を深めることのできる博物館である。

(10) Expo City Dubai（エキスポ シティ ドバイ）



Expo City Dubai（エキスポ シティ ドバイ）として2022年10月1日にオープンした。「持続可能で、テクノロジーを駆使した、人間中心の未来都市」をテーマにオープンした同市は、ドバイ EXPO2020 の施設を継承すると同時に、ドバイ 2040 都市マスタープランの一部として、ドバイが前進し続ける象徴になる見込みとのことである。EXPO のシンボルだった「アル・ワスル・ドーム」、天空の庭園展望台、シュールリアルの3つの施設は継続して残り、モビリティ・パビリオン「Alif」とサステナビリティ・パビリオン「Terra」は、インタラクティブな教育体験として存続する。

(11) ムハンマド・ビン・ラシッド図書館 (国語 校外学習)



歴史深いドバイ・クリーク 沿いに建設され、伝統的なコーランの朗読台の形を模したムハンマド・ビン・ラシッド図書館 (Mohammed Bin Rashid Library) は 2022 年 6 月に開館した。新しく感動的なドバイのランドマークであるこの図書館は、地区最大であり、文化的知恵の集結、研究と学術のたゆみのない進歩を表している。

人工知能による図書館の驚くような最新テクノロジーは、ここを訪れるすべての人々がスムーズかつ効率的に図書を検索することができる。

この壮大な施設には、100 万冊を超える書籍が所蔵されている。また、学習室、展示スペース、カフェ、中庭、書店、そして特別なイベントには、550 名までの来客を収容できる屋内外シアターが設置されている。

(12) アル・シンダガ ミュージアム



歴史あるドバイ・クリーク沿いにある、アル・シンダガ博物館 (Al Shindagha Museum) は、この国の過去と敬虔な伝説の誇り高い物語を伝える場所である。「ドバイ・クリーク：都市の誕生 (Dubai Creek: Birth of a City)」は最新のマルチメディア体験で、来館者は、数世紀にも及ぶこの地域の劇的な開発を目の当たりにすることができる。

＜ミナレ学習（総合的な学習の時間） 現地での校外学習のガイドにおける日本との比較検討＞

①2022. 6. 21 バラカットジュース工場への校外学習



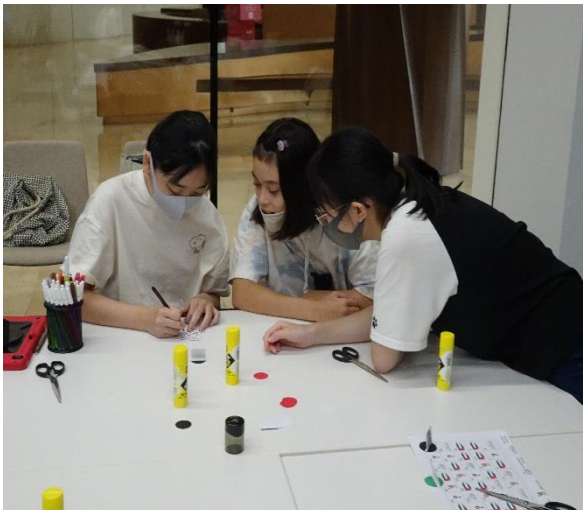
この校外学習は、本校の外国語（通称：EC）授業とミナレ学習の教科横断的な学習として実施された。食品を扱う工場であるため、加工作業を行っている施設内の見学は、マスク・衛生キャップ・衛生白衣の着用が義務付けられていた。また、撮影機器の持ち込みは厳禁で、待合室と正面玄関での写真のみ撮影することができた。

バラカットは、スーパーでジュースや果物メーカーとしてよく見かける、子供たちにとってもなじみ深い施設である。施設見学の大まかな流れとしては、実際に作業をしている様子を見学し、製品の試食をさせてもらうという日本でよく経験したスタイルであった。大きな違いを感じたことは、作業現場を工程に沿って目の前で見学することが、日本の食品加工工場ではないことだと感じた。

ガイドの内容は、山のように積まれたたくさんの種類の果物がどこからきたものか、それらを種類ごとに応じた機械で切り分けていること、作業員は分業制で働いていること、新鮮でおいしい商品を消費者に届けたいという作り手の思いなど、日本のものと同じような感覚を受けた。見学後、子供たちの英語を用いた質問にも一つ一つ丁寧に答えてくれた。このような工場見学の受け入れは、要請があれば常時行っているとのことだった。

子供たちの学習後の振り返りからも「これからスーパーに行ったら、バラカットの商品をよく見てみたい」などと、好意的・意欲的な感想ばかりであった。普段の生活で目にしている、口にしているものが、どのような工程でできているかを体験的に学ぶことは、どの国においても深い学びへと繋げる有効な手立てであると感じた。

②2022. 8. 30 エディハドミュージアムへの校外学習

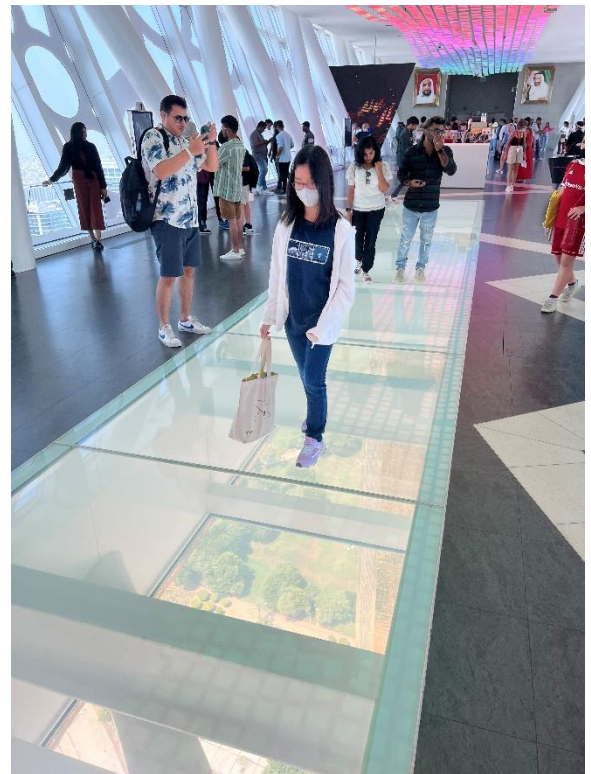


この校外学習は、「ドバイの歴史を学ぶ」をテーマにドバイ郊外にある施設へ訪問した。90分間のスクールトリップガイド付きの学習であった。ドバイの社会教育施設の全体的な傾向かもしれないが、デバイスの持ち込み・撮影は自由で、子供達は見学後のまとめ・振り返り学習に向けて、各々意欲的に撮影をしていた。

ガイドの内容は、UAE（アラブ首長国連邦）がどのように結成されたかを、館内にあるパネル・シアターなどを活用して説明してくれた。一般的に90分間は子供達にとって長いと思われるが、実際に触る、聞く、見るなどの活動を入れ込むなどの工夫により、時間を感じさせない学習となった。

今回の学習で一番特徴的だったものは、最後にすごろくゲームを活用した振り返り学習を入れ込んでいた点である。子供達は、学んだ内容をお互いに話し合いながら深めることができた。日本の校外学習では最後にアンケートや感想を記入して終了することが多かったのですが、自分にとっては新鮮で、校外学習を質の高いものにするために必要な活動だと感じた。

③2022. 9. 12 ドバイフレームへの校外学習



この校外学習は、「ドバイの建造物」をテーマに、ドバイの観光スポットとしても有名なドバイフレームに訪問した。。70分間のスクールトリップガイド付きの学習であった。

ガイドの内容は、ドバイフレームの構造や模様について、さらにはOld ドバイ（一昔前のドバイ）と未来のドバイについて、映像を用いながら説明するものだった。

ガイドの説明方法で子供達の興味・関心を高めていたのは、説明後に質問を受け付けていた点である。子供達がその場・その時に感じた疑問をすぐに拾い上げ、それに対するレスポンスをすることは、最後にまとめて質問を受け付ける形式よりも学びが深まると感じた。子供達の振り返り学習からも、それが読み取れるものが多々あった。私が経験した日本での校外学習では、最後に疑問に思ったことを質問するという形が多かったこともあり、このような学習形態は自分が授業をする上でも生かせる点があると感じた。



十勝地区国際理解教育研究大会

世界に関わる行動力を

帯広稲田小、緑園中で公開授業等

【帯広発】第13回十勝地区国際理解教育研究大会が15日、帯広市立緑園中学校を会場に開かれた。オンラインを含め100人の管内教職員が参加。公開授業や研究協議、実践研修等を通して、国際理解教育の在り方について考えを巡らせた。

十勝地区国際理解教育研究「関わり何ができるかを考える」は「多様な世界に関わる、主体的に行動するまなび」をテーマに、前年度から3カ年計画で研究を推進。カリキュラムや国際実践力の育成を教材づくりの視点に置き、生活体験や知識をもとに世界との関わりを感じ、対話等を通して問題解決に向けた児童生徒の育成を目指している。



この日、帯広市立稲田小学校、緑園中の2校で公開授業を公開した。うち稲田小では、総合的な学習の時間「SDGsについて考える」（慶長宏之）教諭、6年2組35人を実施したII写真。

【帯広発】帯広市立稲田小学校（伊澤理紀校長）は、今年度の総合的な学習の時間「地域による協力を得た学習を展開している。うち3年生は持続可能な町づくりに向けて町内の産業等を調査。11月上旬にはフィールドワークを実施し、生産者から現状や課題を聞いた。同校は本年度、1年生で体験学習による総合郷土学習、2年生で地域の事業所で職業体験、3年生で提案型の地域学習を実施している。

持続可能な町づくりへ

広尾中 総合学習で地域学ぶ

3年 町内産業等を調査

【帯広発】広尾町立広尾中学校（伊澤理紀校長）は、今年度の総合的な学習の時間「地域による協力を得た学習を展開している。うち3年生は持続可能な町づくりに向けて町内の産業等を調査。11月上旬にはフィールドワークを実施し、生産者から現状や課題を聞いた。同校は本年度、1年生で体験学習による総合郷土学習、2年生で地域の事業所で職業体験、3年生で提案型の地域学習を実施している。

なる本時は「私たちがつくる持続可能な世界について考える」を課題に設定。本年度、帯広市内の小中学校からドバイ日本人学校に派遣教諭として現地に赴いた重直也教諭とオンラインで交流する授業を展開した。重直教諭はドバイの学校や街並みを伝え、日本車や調味料など、海外で日本を感じたものを紹介。ごみ分別の概念がないことや、同ドバイの生活を聞かされると

じアラブ首長国連邦の中でも場所によって街並みや生活が異なること、気温が高くて過酷な環境で人々が働く現状など、8ヵ月過ごした中での気づきを伝えた。児童から水道やトイレに関して質問が上がると「生活には関係ないが、飲料水は購入品」「海外製品のトイレトーパーは水に溶けないため、トイレ近くのごみ箱に捨てる」と回答。

⑤総合的な学習の時間（ミナレ学習）での実践まとめ

2023. 2. 7 帯広市立大空学園義務教育学校とのオンライン交流 ※別紙資料②参照

※以下、ドバイ日本人学校児童からの感想一覧

- ・北海道の食べ物や名物が知れてよかったです。
- ・海洋丼や豚丼がとても美味しそうでした。今すぐ北海道に行きたいです(笑)。
- ・北海道の有名な建物や美味しそうな食べ物が知れて良かったです。僕は、雪が積もった所には行った事がないので北海道に行ってみたくになりました。
- ・日本の学校と繋がれて良かったです。
- ・北海道の美味しそうな食べ物を見て、どれもドバイでは食べれそうなものではなくてとてもお腹が空きました！北海道に行って、海鮮丼食べてみたいです！
- ・北海道の食べ物などをよく知れて良かった。また、私たちも、発表できて、いい経験になったと思う。こっちのことを北海道の皆さんによく知ってもらえたんじゃないかと思う。
- ・北海道の食べ物や観光スポットが知れました。一番印象に残ったのはアイスクリームの味が20種類あるということです。いつかそのアイスクリームを食べてみたいと思いました。
- ・北海道の知らないことはいい事をたくさん知れました。すごくおいしそうな食べ物があって食べてみたいです。北海道に行ったら、発表してくれた食べ物を食べてみたいと思いました。こっちの発表はどう思いましたか？今日はありがとうございました。
- ・北海道の食べ物や建物を知れてよかったです。良い経験になりました。
- ・北海道の色々な食べ物の写真が美味しそうだった。日本に行った時北海道に行って北海道の食べ物を食べてみたいと思いました。特に海鮮丼を食べてみたいです！
- ・今日の交流で、北海道の名物について、分かりましたありがとうございます！今日見た、海鮮丼を食べに北海道に行きたいと思いました！
- ・今回の交流で北海道の名物や観光地を知れて北海道に行きたくなった！今回の発表で北海道の食べ物を食べたい！特にジンギスカンは美味しそうだった！
- ・美味しそうな食べ物や楽しそうな場所を見せてもらって北海道にすごく行きたくなりました。本当に良かったです！
- ・北海道の食べ物や場所を見て、北海道に行きたくなりました。
- ・北海道の名物が知れて嬉しかったです。特に海鮮丼が美味しそうでした。北海道に行きたくなりました。

※以下、帯広市立大空学園義務教育学校児童生徒からの感想一覧

- ・ドバイの名所などは、意外な形で面白い建物（世界一高い建物、図書館の変な形、額縁など）がいっぱいあって、いつか行きたいなと思いました！
- ・世界で一番高い建物があることや大きな額縁があることなど色々なことがわかりました。中でも46℃など50℃近くまで気温が高くなるということが一番驚きました。帯広には海や砂漠がないので実際に自然に触れたりする体験ができるのは羨ましいなと思いました。北海道とは正反対の国だなと思いました。
- ・ドバイの日本人学校でも、日本と同じような授業をしていることなどを知って驚いた。実際にリモート越しではあるけれど、会話をしてみたことで色々な驚きや発見があった。今後も今日のように交流できる機会があれば、ぜひ参加したいと思った。
- ・ドバイには名前が似ている宗教があった。
- ・ドバイには高校はなかった。
- ・ドバイとは5時間の時間差があった。
- ・ドバイには大きい額縁のようなものが建ってある。
- ・英語とは別でモンゴル語の授業もあった。
- ・ドバイ日本人学校のクラスは家族のような雰囲気だった。
- ・ドバイは46度まで夏は気温が上がるなんて35度でうちらは溶けちゃいそうなのに暑そうだなと思った。
- ・ドバイの魅力についての感想は、図書館がすごくでかいなと思いました。ドバイの沿岸部にある家が多く建てられている場所には家しかないのだと思っていただけれども、水で遊べる施設などもあるのが驚きだった。海の色がすごくきれいだった。
- ・高いタワーのマンションが9億円もして、家賃が月300万なことに驚いた。歩いたらヒビが入って割れるマンションがついたやつめっちゃ心臓に悪いなと思った。砂漠へのキャンプ寒いだろうけど楽しそうだなと思った。フレームの過去エリア・現代エリア・未来エリア全部見てみたいなと思った。最高気温46度とか暑すぎてやばいなと思った。トイレトペーパーで作ったタワーのやつすごいなと思った。
- ・今回始めて外国との交流をして、ドバイにはすごいところがたくさんあって行きたくなりました。図書館や大きい額縁、印象的な建造物がたくさんありました。さらに、日本と違って冬なのに46度くらいあると言っていてぜんぜん違うんだなと思いました。
- ・自分が知らないことをいくつか知ることができて、とてもいい経験になりました。ドバイには、見たことがない建物がいくつかあって、とても興味がわきました。
- ・ドバイの図書館が現代的で面白いなと思いました。
- ・ドバイでは、日本人学校の人々と、日本の学校の人と比べたら、あんまり差がなく、ですが、ドバイの日本人学校の人たちは、とても表情が明るくて、自分も良かったです、ドバイの建物はアートのようなおもしろく、きれいな建物がたくさんあって、良いなと思いました。いつかドバイに行きたいです。
- ・ドバイの学校の話や図書館など、紹介してくれた建物など色々面白そうなものがたくさんありました。紹介してくれた中の図書館が一番興味がありません。有名な所や、食べ物なども色々味を想像しながら聞いたりしてました。クイズなども楽しかったです。ドバイの学校の人達もすごく元気でリアクションがすごいと思いました。ドバイの交流楽しかったです。



